

レギュレーター ユーザー・ガイド

⚠ 注意

Swagelok® レギュレーターおよび Kenmac® レギュレーター用調節可能型圧力逃がし弁は、Pressure Equipment Directive 97/23/EC で定義されている「安全用アクセサリ」ではありません。

レギュレーターを締め切り用装置として使用しないでください。

取り付け方法

■ 底部取り付け

レギュレーターのボディ底部にある 2 カ所の取り付け用穴 [使用ねじ: M5 (ユニファイ 10-32)] を使用してレギュレーターを取り付けます。

■ パネル取り付け

⚠ 警告

ハンドルとステムが所定の位置に固定されていない場合、二次側圧力がレギュレーターの最高使用圧力を超えるおそれがあります。

- ハンドルをできるだけ下までまわして、次に 1/4 回転戻します。ハンドルの溝の向きを書き留めておきます。これは、再取り付けの際に必要となります。
- ハンドルとステムをしっかりと固定し、ロック・ナットを緩めて取り外します。
- ハンドルを反時計回りにまわして取り外します。
- 最大パネル厚およびパネル・ドリル穴径につきましては、製品カタログ『Swagelok 圧力レギュレーター K シリーズ』(MS-02-230) をご参照ください。
- パネル取り付けを行った後、ハンドルを再度取り付けてできるだけ下までまわし、次に 1/4 回転戻します。
- ロック・ナットを再度取り付け、13.5 ~ 16.9 N・m のトルク値で締め付けます。締め付ける際は、ハンドルとステムをしっかりと固定してください。

■ システムへの取り付け

注意: ハンドルの方向はすべて、レギュレーターの真上から見たものです。

- システムの洗浄を行ってから、レギュレーターを取り付けてください。
- 純度の低い流体を使用する場合は、一次側での追加フィルターの使用をお勧めします。
- システムに取り付ける際は、ハンドルを以下の方法でまわして、レギュレーターが閉状態であることを確認してください。
 - 背圧レギュレーター: ハンドルが止まるまで時計回りにまわす
 - 減圧レギュレーター: ハンドルが止まるまで反時計回りにまわす
- レギュレーターおよびシステム保護のため、二次側に圧力逃がし弁を取り付けることをお勧めします。
- すべての接続部分について、漏れがないか確認します。レギュレーターの二次側 (減圧レギュレーターの場合は「LP」、背圧レギュレーターの場合は「HP」とマーキングされている側) を遮断し、ハンドルを時計回りにまわしてレギュレーターの二次側を加圧します。次に、不活性ガスを使用して本体に記載されている圧力までレギュレーターを加圧し、接続部とすべてのプラグの周辺に漏れ検出液を塗布します。

⚠ 注意

一次側 (減圧レギュレーターの場合は「HP」、背圧レギュレーターの場合は「inlet」とマーキングされている側) と、二次側 (減圧レギュレーターの場合は「LP」、背圧レギュレーターの場合は「outlet」とマーキングされている側) が正しい向きになっていることを確認してください。

操作方法

注意：ハンドルの方向はすべて、レギュレーターの上から見たものです。

- 背圧レギュレーター：ハンドルを時計回りにまわすと一次側の調整圧力が上昇し、反時計回りにまわすと一次側圧力がレギュレーターを通して排出されます。
- 減圧レギュレーター：二次側圧力および調整圧力の設定を行う際は、ハンドルを調節します。
 - 二次側圧力／調整圧力を上げる場合は、ハンドルを時計回りにまわします。
 - 二次側圧力／調整圧力を下げる場合は、ハンドルを反時計回りにまわします。
 - 流体がシステム内を流れ始めた後、微調整が必要となる場合があります。
 - 以下の理由から、最終調整は加圧方向にまわして行ってください。
 - 正確に圧力設定を行うため
 - セルフ・ベントを正常に機能させるため
- ガス流体が水分を含んでいる場合、大流量時または高差圧時においてレギュレーターに氷結が発生することがあります。
- 流体が液体の場合、一次側ポート・フィルターにより圧力損失および流量の減少が生じることがあります。必要に応じて、ポート・フィルターを取り除き、用途に合ったフィルターを一次側に使用してください。

⚠ 警告

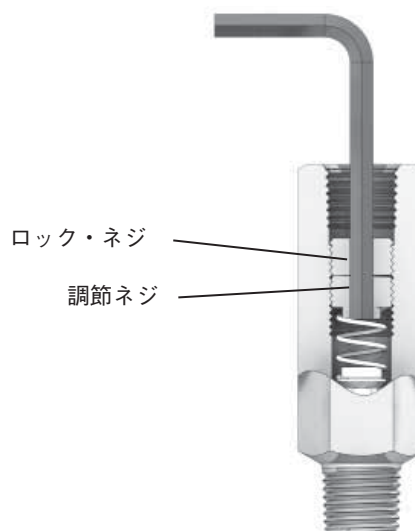
工場で圧力逃がし弁 KVV シリーズをレギュレーターに取り付ける際に、設定をゼロにしています。二次側圧力が大気中に排出されるため、圧力設定の調整を行う必要があります。

⚠ 警告

システム圧力を変更する場合は、必ず事前に希望の設定圧力で圧力逃がし弁が作動することをご確認ください。

設定圧力の調整

1. 5/32 インチまたは 4 mm サイズの六角レンチを使用して、ロック・ネジを反時計回りにまわして緩めます。
2. 六角レンチを調節ネジの中まで差し込みます。
3. ロック・ネジおよび調節ネジをまわして希望の設定圧力に調整します。両方のネジを時計回りにまわすと設定圧力が高くなり、反時計回りにまわすと低くなります。
4. ロック・ネジの底まで六角レンチを引き戻し、時計回りにレンチをまわしてネジを締め、固定します。
5. 設定圧力を確認します。



ご注意：他社部品との混用や互換は絶対に行わないでください。

この日本語版ユーザー・ガイドは、英語版ユーザー・ガイドの内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

詳細なレギュレーター・メンテナンス手順説明書や、その他の言語のユーザー・ガイドもご用意しています。詳細につきましては、スウェーデンロック指定販売会社までお問い合わせください。

www.swagelok.co.jp

Swagelok, Kenmac — TM Swagelok Company
© 2004, 2010, 2011 Swagelok Company
October 2011, R3
MS-CRD-KREGJ4-E
H12P